

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 29 日 (19 : 45 ~ 20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	1	1	10

前回の改善計画
終礼時の振り返り時に記録 (ノートを使用) を行ない、日々のケアに活用したり、月に一度の会議の時に情報をまとめ共有したりしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
終礼時に振り返りを行ない、情報の共有がしている。必要なことは申し送りノートにて周知しているが不十分な部分もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	7	0	1	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	5	3	0	10

できている点
利用開始前の情報は朝礼や終礼、事前情報を通じて情報の共有が出来ている。利用開始してからも、日々の様子を職員同士のコミュニケーションを通して共有できている。サービス開始時に困難なことがあれば、その都度ケアマネや管理者より対応の指示がありよりよい支援ができています。

できていない点
介護職員は家族との接点が少ないため十分な配慮ができていないこともある。勤務開始時間や終了時間、送迎の関係で朝礼、終礼に参加できていない職員もあり、把握できていないこともある。アセスメントシートや記録にはない口頭だけの情報もあり、情報の理解にバラつきがある。

次回までの具体的な改善計画
利用初期の方に対しては特に意識して声かけを行ない、不安なことや困りごとを聞く姿勢を意識する。送迎時に家族と関わる時は、通いの様子を伝えたり自宅での様子を聞いたりして情報を集め、ケアマネジャーと共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 29 日 (19 : 45 ~ 20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	6	3	1	10

前回の改善計画
通いの中での「～したい」を見つけ出しそれぞれの「～したい」にそったサービス提供 (個別レクリエーションや生活リハビリ) を行なう。
前回の改善計画に対する取組み結果
通いの中で、利用者の希望のあるレクリエーション (散歩やカラオケ) や生活リハビリ (買い物や家事) を実施できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	4	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	3	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	3	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	5	2	1	10

できている点
レクリエーションや生活リハビリに楽しんで参加している様子や利用者からの「今日も一日楽しかったね」との声に、できていると判断できる。意思表示のできる利用者に対しては本人の希望に沿ったサービスをある程度提供できている。 終礼時に振り返りを行い、情報を共有し次の対応にいかしている。

できていない点
利用者毎の「～したい」事のサービス提供ができていない。 コミュニケーションをとるのが困難な利用者の「～したい」事の見極めは難しく、目標や希望を把握することが十分ではない。

次回までの具体的な改善計画
「～したい」という希望を聞いたり、引き出したりできるように本人に寄り添う姿勢を意識しながら関わる。「～したい」ということには実現できるように取り組み、本人に「～できた」という満足感を持ってもらう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月29日(19:45~20:30)

3. 日常生活の支援

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	1	4	5	10

前回の改善計画
月に一人対象者を決め、重点的に情報収集や記録を行ない様式にまとめる。それを職員間で共有できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
日頃から情報収集や共有はできているが、様式に重点的に記録をすることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	7	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	1	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	5	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	6	0	0	10

できている点
ミーティング等で一人ひとりの利用者の情報共有ができている。また利用者の表情などでもあらゆる気持ちを想定し話し合いを行なっている。 利用者一人ひとりの状態を理解しケアを行なっている。

できていない点
状態の変化がない時に気持ちまでくみ取ろうとしていない時がある。 すべての利用者の「以前の暮らし方」を把握できていない。 緊急で利用を開始した利用者に対してはアセスメントが十分にできていないことがある。

次回までの具体的な改善計画
本人の話したありのままの言葉をより多く記録に残すようにし、本人の気持ちの変化を把握していく。少しの気づきでも、職員同士で共有し、早めの対応をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 29 日 (19 : 45～20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	4	3	

前回の改善計画
家族との関わりの中で自宅での様子を把握していく。また地域との関係が持てるように馴染みの地域のイベントに参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
送迎などで家族と関わる際には自宅での様子を伺い把握に努めたが、職員の職種や役割の違いで、バラつきがあった。地域でのイベントにもあまり参加できずにいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	3	3	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5	1	2	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	4	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	4	3	10

できている点
記録や本人からの情報で理解しようとしている。 自宅の様子は送迎時に家族から情報を得て把握している。

できていない点
職種によって把握している本人の情報や地域資源の把握に差がある。 全ての利用者の情報や地域資源の把握ができていない。

次回までの具体的な改善計画
日々の業務の中で生活状況の把握に努め、新たに知った情報はケアマネージャー伝えアセスメントシートに反映し共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 29 日 (19 : 45～20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	4	3	3	10

前回の改善計画
東成区地域での資源の情報の提供をしていくと共に、利用者の住み慣れた地域（東成区以外）の資源の情報も収集し利用者資源に活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果
必要な方に対して地域の資源（ボランティアなど）の情報提供を行ない、利用につなげることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	2	4	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	7	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	6	0	0	10

できている点
本人の変化（体調など）に合わせて支援の内容を変えて行なっている。 自宅での転倒があった場合、緊急の泊まりに変更するなど状況に合わせて提供できている。 配食サービスや話し相手のボランティアを利用している人がいる。 変化の内容を、月の一度の会議で共有し必要な支援を行なっている。

できていない点
職員によっては地域の資源について理解の差がある。 口頭の情報共有が主になり記録だけでは日々の変化に気付けないことがある。

次回までの具体的な改善計画
日々のかかわりの中の変化をケース記録に残す。利用者の普段利用している地域の資源（スーパーやいきつけの店）の把握をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月29日(19:45~20:30)

6. 連携・協働

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	2	2	10

前回の改善計画
地域の活動やイベントに多くの職員が関われるようにし地域交流をしていく。
他のサービス機関との会議を行なった際は、会議や議事録を通して職員全体に周知していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
施設のイベントでは多職種の職員が関われるように行なった。地域のイベントはあまり多く参加ができずにいた。他のサービス機関との会議は多くの開催ができなかったが、日頃の情報共有は意識して行なっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	3	1	6	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	4		6	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	1	4	4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	7		2	10

できている点
施設のイベントを通して地域の方の施設に訪れることがある。
連絡会に参加し情報の共有を行なっている。

できていない点
利用状況の変化により地域のイベントに参加ができていないことがある。
他のサービス機関との会議の開催回数が少ない。
職種によって参加できる会議が限られている。

次回までの具体的な改善計画
その他のサービス機関との連携を日々の情報共有や会議などを通して行なっていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 29 日 (19 : 45 ~ 20 : 30)

7. 運営

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	2 人	3 人	人

前回の改善計画
各職員が地域との関わりを持てるように行事の役割を見直す。その中で職員が運営に対する意見を聞き取り、意見を発信して運営に反映していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
より多くの職員が地域と関われるように行事の役割の見直しを行なった。アンケートの実施により、意見や改善案などの聞き取りを行ない運営に反映している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	2	3	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	2	4	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	2	2	3	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	3	5	10

できている点
利用者や地域からの苦情、要望があれば見直しや改善を行なっている。 利用者の楽しみのための提案（レクリエーションなど）は行なえている。

できていない点
地域と協働した取組みはあまり行なえていない。

次回までの具体的な改善計画
利用者へのより良い環境づくりのために、その人が必要としていることや整えるべき環境を考え、会議などの場で発信や共有をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 29 日 (19 : 45～20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	0	2	

前回の改善計画
研修に参加できていない職員にも内容が伝わるように資料の回覧や会議等で伝達を行なう。 興味のある研修に参加できるような環境を整えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
内部研修の内容で共有した方がいい内容はフロア会議ないで伝達研修を行なっている。 興味のある研修は参加できるような環境を整えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	4	2	3	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	2	3	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	0	7	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	4	3	0	10

できている点
職場外でもスキルアップのための研修は、希望があれば参加できている。 リスクマネジメントに取り組んでおり、事故やヒヤリハットがあれば共有や対応策を検討し再発防止に努めている。 管理者とケアマネージャーが大阪市の小規模連絡会に参加している。

できていない点
職種により地域の連絡会に参加できていない。 業務終了後の研修になると参加するのが難しいこともある。

次回までの具体的な改善計画
勤務の都合などで研修会に参加できる職員に差があるため、参加人数の多いフロア会議で主な研修を行ない、より多くの職員に伝達できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 29 日 (19 : 45～20 : 30)

9. 人権・プライバシー

出席者 小栗・小林・吉野・米澤・藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	7	0	1	10

前回の改善計画
継続してアンケート調査を行ない、満足度を把握すると共に日頃の業務でもプライバシーや個人情報を意識して業務を行なっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
アンケートを実施し満足度や要望の聞き取りを行なっている。プライバシーや個人情報を意識しながら業務を行なっているが、職員それぞれが遵守できていないと感じる時がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	4	0	0	10
②	虐待は行われていない	8	2	0	0	10
③	プライバシーが守られている	3	7	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4	0	2	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4	0	1	10

できている点
車椅子からのずれ落ちがある人でも拘束しないように状態を見ながら対応している。 必要な人には成年後見制度を活用している。 身体拘束や虐待、個人情報は常に意識しながら業務をしている。

できていない点
とっさにスピーチロックをしてしまうことがある。 狭い空間のため職員の業務内容の申し送りなどが利用者に伝わっているようなことがある。

次回までの具体的な改善計画
プライバシーや個人情報について意識しながら業務を行なう。気になることや遵守できていない場面があれば、職員間で声をだしあい見直しや業務改善を行なう。